

平成 28 年度府中町キッズ環境調査プロジェクト報告書

1 目的

このプロジェクトは、次代を担う子供たちの視点に立ち、子供たちは府中町の自然環境・生活環境というものをどう感じているのか調査をし、その声を地域に伝え、地域で課題に取り組んでいくという地域力を生かした環境づくりの仕組みを作り、環境保全意識及び地域コミュニティを醸成していくことを目的としています。

2 対象

町内全 5 校の小学校を対象に、各学校で選定した学年の全学級で調査及び活動を行いました。なお、各学校の対象学年、学級数、児童数は、次のとおりです。

府中小学校	5 年生（4 学級）	156 人
府中南小学校	4 年生（4 学級）	122 人
府中中央小学校	5 年生（2 学級）	69 人
府中東小学校	4 年生（2 学級）	62 人
府中北小学校	4 年生（2 学級）	48 人
合 計		457 人

3 活動内容

- (1) キッズ環境調査アンケート
- (2) 各学校での取り組み

4 キッズ環境調査アンケート

府中町の自然環境や生活環境に対する子どもの意識について、選択式（一部記述式）で回答するアンケート調査を行いました。

5 各学校での取り組み

各学校では、児童がどのような意識や関心を持っているかをもとに、それぞれの学校で取り組むテーマを設定し、子どもの視点に立った環境調査などを行い、地域の環境について考え、体験や学習を深める活動を行いました。

- ・府中小学校（5 年生）
- ・府中南小学校（4 年生）
- ・府中中央小学校（5 年生）
- ・府中東小学校（4 年生）
- ・府中北小学校（4 年生）

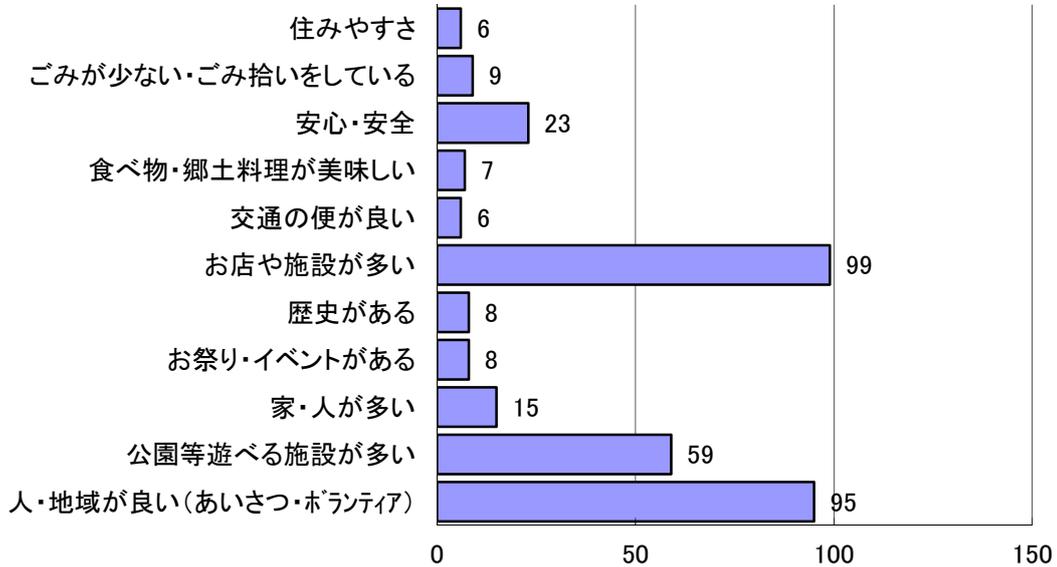
【 キッズ環境調査アンケートの集計結果 】

※ 割合は、四捨五入の関係上、合計値が100%にならない場合があります。

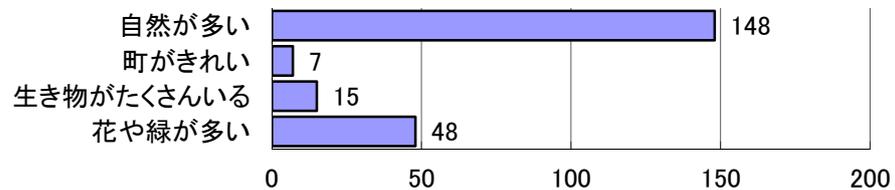
◇ 山・川や池・生き物について

問1 府中町の好きなところは、どんなところですか？

○住みやすさ



○自然



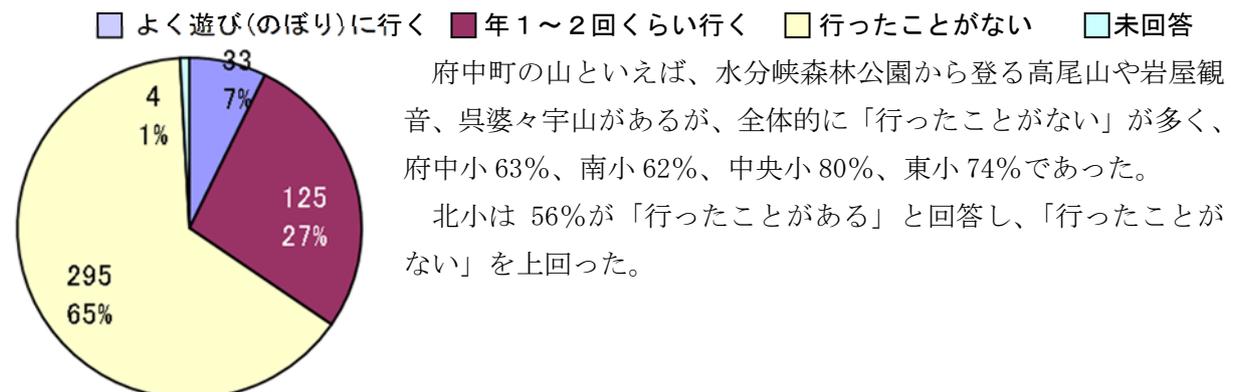
自由記述のため、色々な記述があったが大きな項目に分け、更に「住みやすさ」と「自然」に分けて示した。

「住みやすさ」の中で、「お店や施設が多い」に回答した児童が大幅に増え、府中小、南小、中央小だけで89%を占めた。また、「人がやさしい・親切」「あいさつしてくれる」「友達ができやすい」など、「人・地域が良い」に関する記述が多かった。

「自然」の記述については「自然が多い」の記述が突出している。

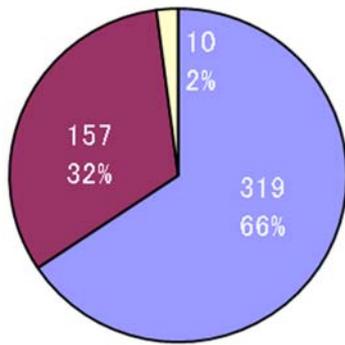
その他の記述では、「学校が楽しい」「にぎやか」「空気がきれい」などがあつた。

問2 府中町の山（岩屋観音や高尾山、呉婆々宇山方面）に行くことがありますか？



問3 府中町の山に（また）行きたいと思いますか？

□ 思う ■ 思わない □ 未回答



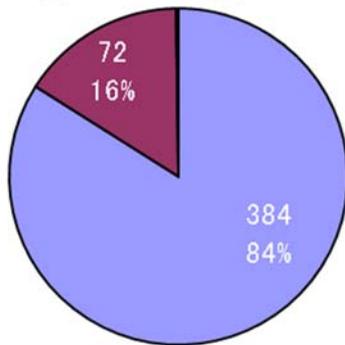
「山に（また）行きたい」と「思う」が、府中小 64%、南小 74%、中央小 52%、東小 65%、北小 73%であった。

行きたいと思う理由では、各校とも「自然がたくさんある」が一番多く、「たんけんできる」がそれに続いた。また、その他の記述では、「景色がきれい」「行ったことがないから」などがあつた。

行きたいと思わない理由では、「興味がない」が 40%と一番多かつた。

問4 府中町の川や池はほとんど入ることができませんが、入ることができるなら遊びたいと思いますか？

□ 遊びたい ■ 遊びたくない



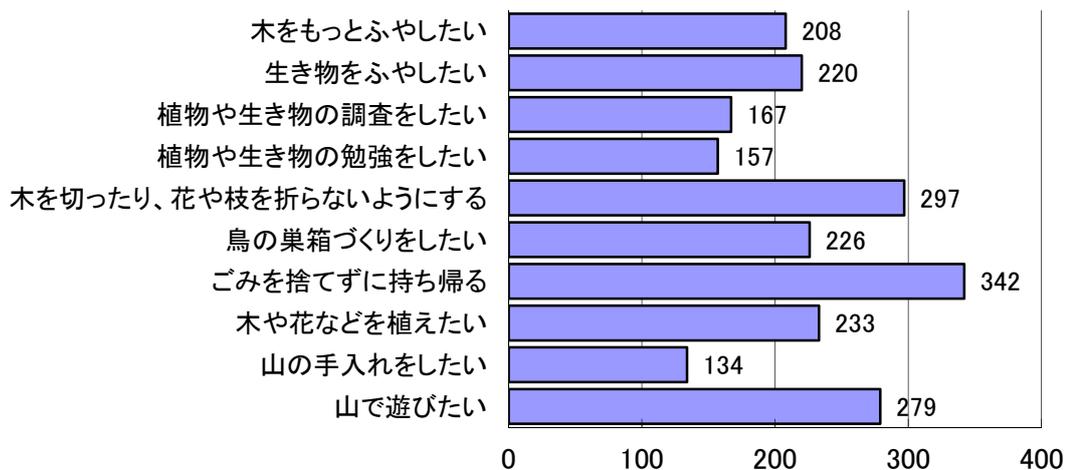
川や池で「遊びたい」が 84%で、各校とも問2「（山に行きたいと思う）」の割合より多かつた。

「何をして遊びたいですか」では、「水遊び」「つり」が多かつた。また、その他の記述では、「泳ぐ」「生物の観察」という記述もあつた。

遊びたくない理由では、「興味がない」「生き物がこわい」の順で多かつた。その他の記述では、「濡れるのが嫌い」「怖い」「おぼれる」などがあつた。

問5 府中町にある山・川や池・生き物について、下の表に書いている内容を見て、自分がやりたいと思うことに○をつけてください。（複数回答）

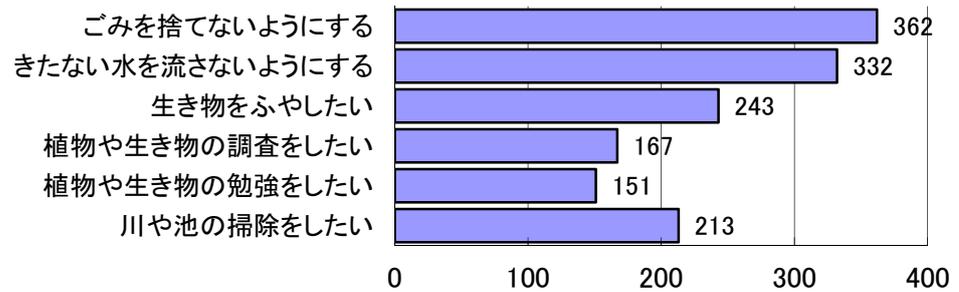
(1) 山について



「ごみを捨てずに持ち帰る」は、各校とも半数以上の児童が回答していたが、特に府中小・東小・北小では 82%以上と多かつた。

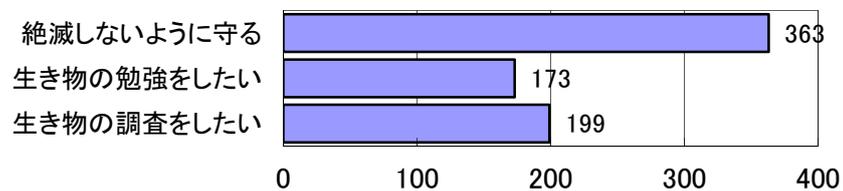
また、全ての項目で昨年より回答数が増えた。

(2) 川や池について



「ごみを捨てないようにする」「きたない水を流さないようにする」を、各校とも半数以上の児童が回答していた。また、全ての項目で昨年より回答数が増えた。なかでも「きたない水を流さないようにする」は大幅に増え、北小では83%以上の回答があった。

(3) 自然の生き物について



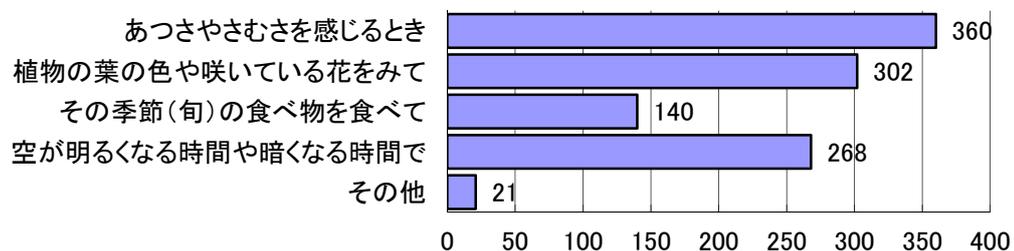
「絶滅しないように守る」を、各校とも70%以上の児童が回答していた。また、全ての項目で昨年より回答数が増えた。なかでも「生き物の勉強をしたい」「生き物の調査をしたい」は回答数が大幅に増えた。

(4) その他

その他の自由記述では、「自然を壊さないようにするにはどうしたらいいか勉強したい」「生き物を守りたい」「植物や生き物と触れ合いたい」などがあつた。

◇ 自然について

問6 「季節が変わったな…」と感じるのは、どんなときですか？（複数回答）



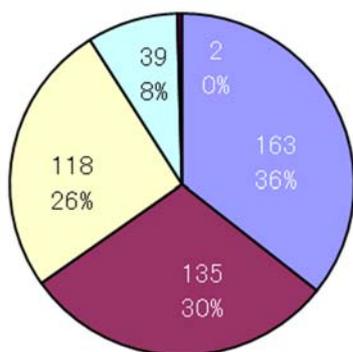
各校とも「あつさやさむさを感じる時」は70%以上、「植物の葉の色や咲いている花をみて」は60%以上の児童が選択していた。

また、全ての項目で回答数が増えているが、「植物の葉の色や咲いている花をみて」「空が明るくなる時間や暗くなる時間で」は大幅に増えた。

その他の記述では、「服装の変化」「お店の商品（服・食品）」「虫の多さ」などがあつた。

問7 自然の中で遊んだり、自然の生き物にふれたりすることはありますか？

■ よくある(月に1回以上) ■ 時々ある(2~3ヶ月に1~2回)
■ めったにない(年に1~3回) ■ 全くない ■ 未回答

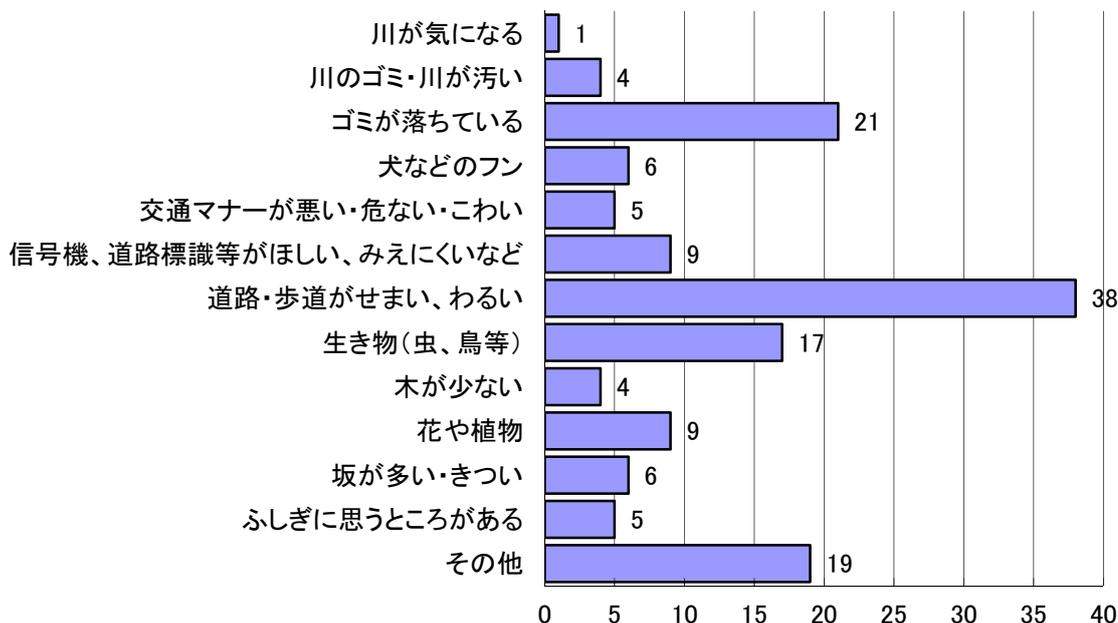


「よくある」「時々ある」を、各校とも半数以上の児童が回答していた。

「よくある」は、南小 45%、北小 46%で他校と比べて多かった。

また、「めったにない」「全くない」は、北小が 12%で他校と比べて少なかった。

問8 通学路で気になるところはありますか？



自由記述のため、大きな項目に分けて示した。128人の児童が気になるところを記述した。

「道路・歩道がせまい、わるい」の記述が昨年と比べ倍以上となっている。南小での記述が多く24件あった。その内「道が狭い」の記述は15件あった。東小については、記述が無かった。

「ゴミが落ちている」については、「タバコが落ちている」、「生き物(虫、鳥等)」については、「ハチの巣がある」という記述が多かった。

また、今年は交通マナーについての記述は少なかったが、車だけでなく自転車のスピードについて、こわい思いをしているという記述が多かった。

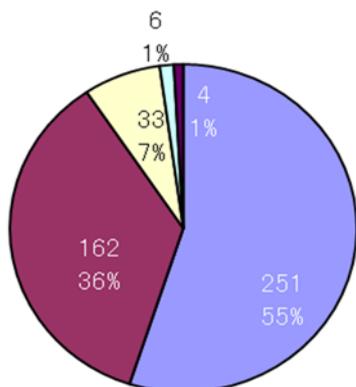
「ふしぎに思うところ」では「マンションを建てているが、どうやってできるか気になる」「コーポの近くにある池は何なのか気になる」などの記述があった。

その他の記述では、「電柱の落書き」「110番の家が少ない」などがあつた。

◇ 公園について

問9 公園によく遊びにいきますか？

■ よく行く(週に1回くらい) ■ たまに行く(月に1~2回くらい)
■ めったに行かない(年に1~3回くらい) ■ 行くことがない ■ 未回答

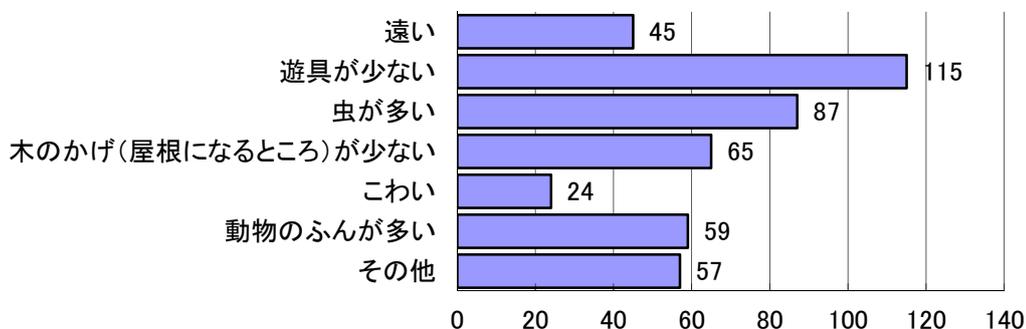


町内には13ヶ所の「都市公園」と40ヶ所の「児童遊園・地域の公園」があり、55%の児童が「よく行く」と回答しているが、東小は44%、北小は40%と低く「たまに行く」が東小は44%で同率、北小は46%で「よく行く」を上回っている。

「よく行く」「たまに行く」と回答した人が、少しであるが増加している。

中央小では「行くことがない」が0%だった。

問10 公園に行かない理由で、ここがいやだということはありませんか？(複数回答)



複数回答の設問で「遊具が少ない」が多かった。

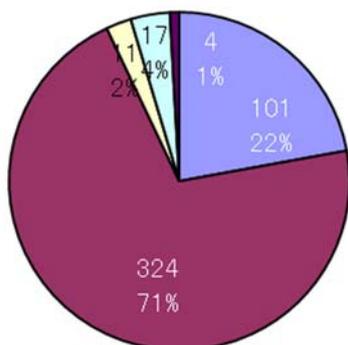
「虫が多い」は昨年と比べ、大幅に減った。

自由記述の「何がこわいか？」では「ハチ」「毛虫」などの虫に関する記述が多かったが、「不審者」「中・高校生」「犬」などの記述もあった。

その他の記述では「ボール遊びができない」が最も多く「トイレが汚い・臭い」「時間がない」などがあつた。

問11 公園の地面は、次のうちどれが良いと思いますか？

■ 土 ■ 芝生(しばふ) ■ アスファルト ■ その他 ■ 未回答



各校とも「芝生」が圧倒的に多く、「土」が続いた。

町内の芝生の公園は、寿仙坊児童遊園の1ヶ所(揚倉山健康運動公園のサッカー場は除く)である。

「芝生」が良いと思う理由では「転んでも痛くない」が最も多く、「気持ちいい」「水たまりができてにくい」「小さい子も安全」などもあつた。

「土」が良いと思う理由では、「いろんな遊びができる」「走りやすい」「転んでも大丈夫」などが多く、「花が植えられる」「砂場ができる」などもあつた。

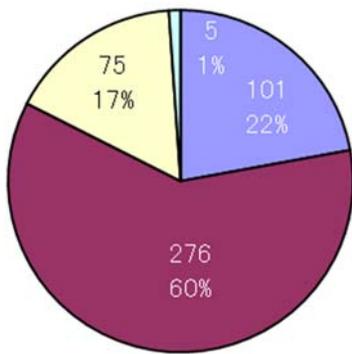
また、「アスファルト」が良いと思う理由では、「ボード遊びができる」などがあつた。

その他の記述では、「ゴム」「人口芝」などがあつた。

◇ ごみについて

問12 道や川などに、ごみが落ちていると感じますか？

■ たくさん落ちている ■ 少し落ちている ■ あまり落ちていない ■ 未回答

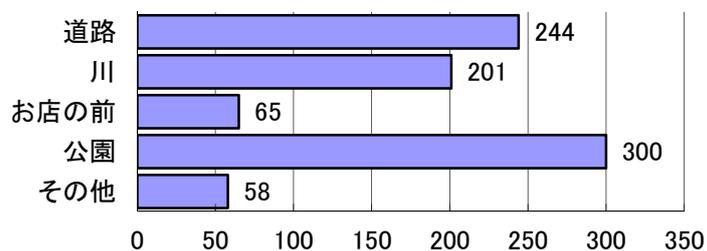


「少し落ちている」が多く、「たくさん落ちている」が続いた。両方を合わせて 82% の子どもが、道や川などにごみが落ちていると感じている。

北小は「たくさん落ちている」が 33% で他校と比べて多かった。

また、「あまり落ちていない」は南小が 21% で一番多かった。

問13 とくに、どこに落ちているごみが多いと思いますか？（複数回答）

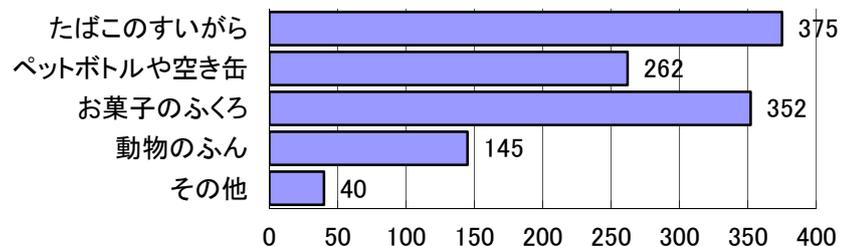


複数回答の設問で、一番多いのは「公園」で 66% だが、東小では 89% と突出していた。

また、「道路」は中央小が 59%、「川」は北小が 58% で一番多かった。

その他の自由記述では「学校」が多く、「溝」「家の前」「海」などがあつた。

問14 どんなごみが多いと思いますか？（複数回答）

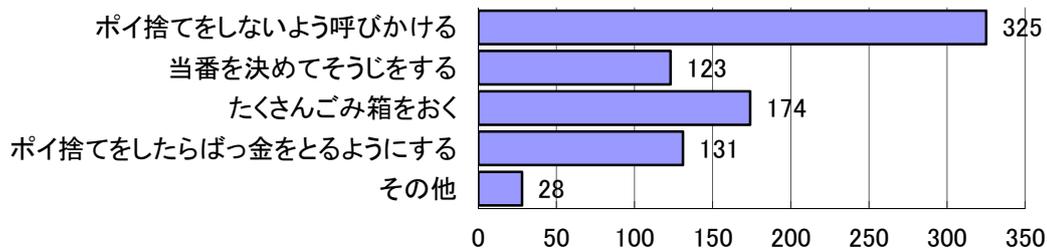


複数回答の設問で、府中小、南小、北小は「たばこのすいがら」が一番多かった。東小では 68% だが、その他の学校では 80% 以上が回答していた。中央小・東小では「お菓子の袋」が最も多く 80% 以上が回答していた。

その他の自由記述では、「ビニール袋」「ガム」「弁当などの容器」が多かった。

また「カラスがごみをあらしている」などの記述もあつた。

問 15 ごみを減らすにはどうしたら良いと思いますか？（2つまで回答）



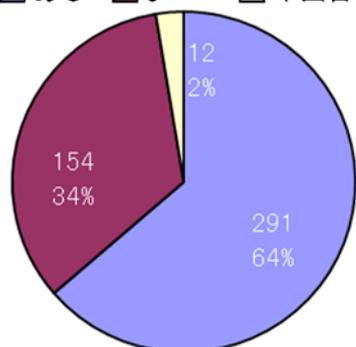
各校とも「ポイ捨てをしないよう呼びかける」が最も多かった。府中小・中央小・東小では「たくさんごみ箱をおく」が続いたが、南小は「当番を決めてそうじをする」「ポイ捨てしたらばっ金をとるようにする」が2番目に多かった。北小では、「ポイ捨てしたらばっ金をとるようにする」が2番目に多かった。

その他の自由記述では、「ポスターや看板で呼びかける」「誰でもいいから拾う」「監視カメラをつける」などがあつた。

◇ 景色や町並みについて

問 16 府中町の中で、「お気に入りの場所」がありますか？

■ある ■ない ■未回答

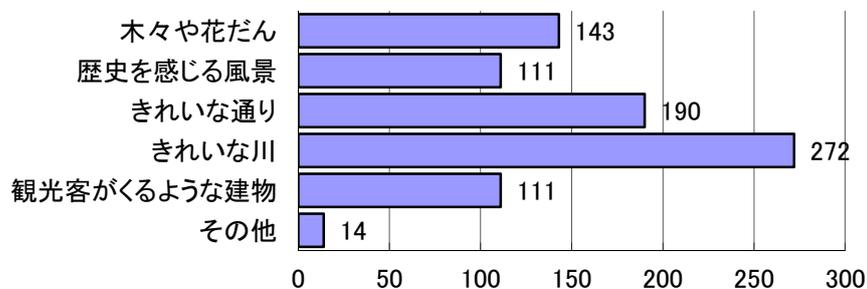


各校とも半数以上が「ある」と回答した。

「お気に入りの場所」は、「公園」が一番多く、「イオンモール」「学校」「くすのきプラザ・図書館」「府中南交流センター」「みくまり峡」「友達の家」などが多かった。また、「公園」では空城山公園のほか、近所の公園の名前が多く見られた。「秘密基地」や近所の店名などの記述もあつた。

「その理由」の自由記述では、「公園」は「遊べる」「遊具が楽しい」「自然が多い」などがあり、「イオンモール」は「いろいろな物がある」「ゲームができる」、「みくまり峡」は「自然がある」「川があつて生き物もいる」、「学校」は「友だちと会える（遊べる）」「グラウンドが広い」、「くすのきプラザ・図書館」は「いろんなスポーツができる」「いろんな本がある」、「南交流センター」は「雨でも遊べる」、「友達の家」は「楽しい」などが多かった。共通して、「落ち着く」という記述が多かつた。

問 17 府中町の町なみ（町の風景）であつたらいいなと思うものは何ですか？（2つまで回答）



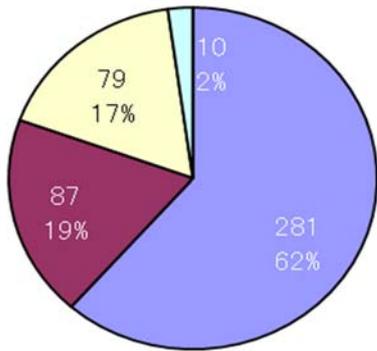
「きれいな川」が最も多く、「きれいな通り」が続いたが、中央小では逆だつた。例年に比べ「観光客がくるような建物」の回答が少なかつた。

その他の自由記述では、「景色がきれいなところ」が多く、「鉄道博物館」などもあつた。

◇ 地球温暖化について

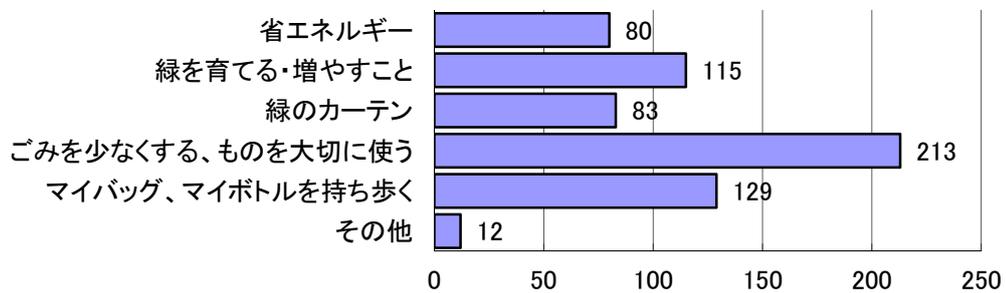
問18 地球温暖化を防ぐために自分がやっていることはありますか？

■ ある ■ ない ■ 地球温暖化を知らない ■ 未回答



東小以外「ある」が多く、南小は80%が回答している。
東小は「地球温暖化を知らない」に48%が回答していた。
「地球温暖化を知らない」と回答する人が増えており、特に東小で+31%と突出していた。

どんなことをしていますか？（複数回答）



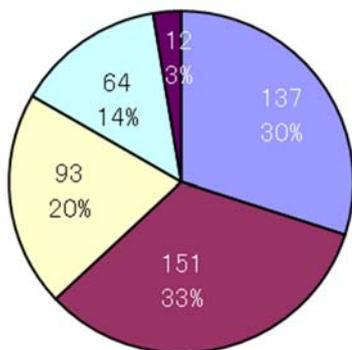
各校とも「ごみを少なくする、ものを大切に使う」が多かったが、南小は「緑のカーテン」が多かった。「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」は大幅に減った。

「省エネルギー」の自由記述では、「電気をつけっぱなしにしない」「水を出しっぱなしにしない」「風呂水を再利用する」「車をあまり使わない」などがあつた。

また、「その他」の自由記述では、「生ごみを肥料にする」「アスファルトに水まきをして熱くならないようにする」などもあつた。

問19 自分からみて、自分の家族は地球温暖化を防ぐ行動をやっていらっしゃいますか？

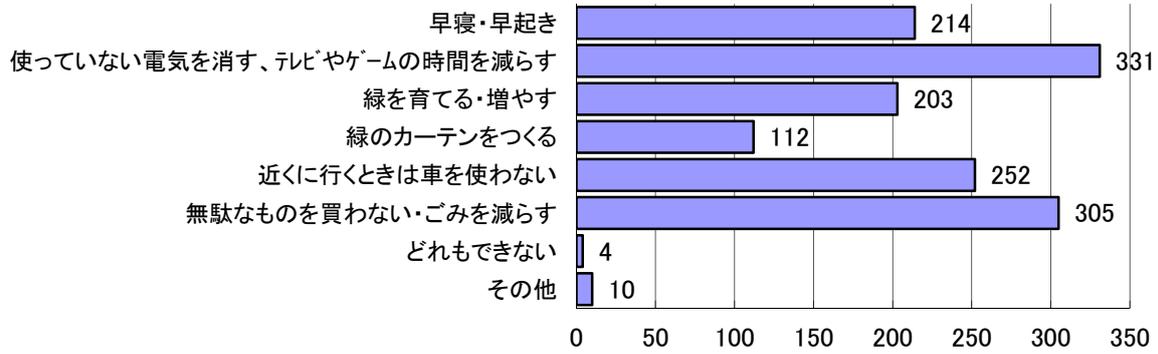
■ いつもやっている ■ 時々やっている ■ たまにやっている ■ ほとんどしていない ■ 未回答



83%の子どもが、自分の家族は地球温暖化を防ぐ行動を「やっている」と答えており、ほとんどの家庭で何らかの地球温暖化を防ぐ行動が行われていることがうかがえる。

「いつもやっている」の回答が昨年の21%から大幅に増えた。

問20 地球温暖化を防ぐために、家族でできると思うことは次のうちどれですか？（複数回答）



複数回答の設問で、各校とも「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「無駄なものを買わない・ごみを減らす」が多かった。

昨年度の調査と比べて大きな変化は見られなかったが、特に「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「緑のカーテンをつくる」が増えた。

その他の自由記述では、「省エネ」「ご飯を残さず食べる」「使えるものは活用する」などがあつた。

◆◆◆ キッズ環境調査アンケートのまとめ ◆◆◆

このアンケートは、毎年、年度始め環境調査を行う前の子どもたちに行っています。

環境について調査・学習する前の子どもたちの意見を聴き、同じアンケートを同時期に継続して行うことで、子どもたちをとりまく環境の変化を調査することを目的としています。

平成 28 年度のアンケート結果について次のとおりまとめました。

◇山・川や池・生き物について

「山に行きたいと思いますか」という問いに対し 66%が「思う」に、「川に入って遊びたいと思いますか」という問いに対し 84%が「思う」に回答しているとおおり、自然の中で遊びたいと思う子どもが多いことを示している。また、「川に入って遊びたい」と回答した子どもがより多いことから、府中町の子どもたちにとって、山よりも川の方が身近に感じられていると思われる。

「山や川でそれぞれ自分がやりたいこと」の問いに対し、「ごみを捨てないようにする」が一番多かった。

また、「植物や生き物の調査・勉強をしたい」との回答が増えており、植物や生き物への関心が高まっていることがうかがえる。

◇自然について

「季節が変わったなと感じるのはどんな時ですか」の問いに対し、植物の葉の色や咲いている花をみて」との回答が増えており、自然の植物に関心が高まっていることがうかがえる。

◇公園について

「公園によく遊びにいきますか」の問いに対し、90%以上の子どもが月に 1～2 回以上公園を利用していることがわかった。

「公園に行かない理由」の問いでは、「遊具が少ない」「虫が多い」が多く、その他では「ボール遊びができない」「トイレが汚い・臭い」という回答が多く、子どもたちの要望・課題としてとらえることが出来る。

◇ごみ(ポイ捨て)について

「道や川などにごみが落ちていると思いますか」の問いに対し「ごみが落ちている」と感じている人が 82%をしめている。

「通学路で気になる場所は」という問いでも「ごみが落ちている」の回答が多く、ごみのポイ捨てへの関心が高いことがうかがえる。

「とくに、どこに落ちているか」に対し、「公園」「道路」「川」の順で多く、「どんなごみが多いか」の問いに対し、「たばこのすいがら」「お菓子袋」「缶・ペットボトル」の順で多かった。

ポイ捨てを減らすにはどうしたら良いと思うかの問いに対し「ポイ捨てをしないように呼び掛ける」「たくさんゴミ箱を置く」が多く、その他では、「一人ひとりが気をつける」との回答が多かった。

◇景色や町並みについて

「府中町の中で、お気に入りの場所がありますか」の問いに対し、「自宅や自分の部屋」を除く場所で64%が「ある」と回答した。お気に入りの場所は、「公園（地元の公園）」「イオンモール」「学校」が多く、よく行く場所ともとらえることができる。

「あったらいいなと思う町並み（町の風景）は」の問いに対し、「きれいな川」が最も多く、「きれいな通り」が続いた。前述の問いから「行きたいと思う場所」ととらえることができる。

◇地球温暖化について

「地球温暖化を防ぐために自分がやっていることはありますか」の問いに対し、62%が「ある」と回答した。

「どんなことをしているか」との問いに対し、「ごみを少なくする、ものを大切にする」「マイバッグ、マイボトルを持ち歩く」が多かった。

「家族でできると思うことは」の問いに対し、「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「無駄なものを買わない・ごみを減らす」の順が多かった。

◇まとめ

「府中町の好きなところはどこですか」と自由記述で書いてもらったところ、「自然がいっぱいあるところ」と「人がやさしい・親切」と多くの子どもたちが回答している。それに続いて「お店や施設があって便利」が多く、子どもたちにとって「自然」もあり「便利」な町と思う児童が多いと推察される。

また、「山・川などで自分がやりたいこと」で、すべての項目で回答が増加していることから、山や自然に対して関心・愛着が増加していることがうかがえる結果となった。

ごみ（ポイ捨て）については、たばこのすいがらや、お菓子袋などのポイ捨てが多いという回答が多く、改善されていないことがわかる結果となった。

キッズ環境調査プロジェクトでは、今後も、継続的に子どもたちの思いを地域や関係団体に発信し、環境への取組みのヒントとして活用していただけることを期待している。

その第一歩として、まずは、地域ボランティアの育成と活動の促進を軸に、今後も、地域と学校をつなげるような働きかけをしていきたい。

平成 29 年 3 月

府中町キッズ環境調査プロジェクト連絡協議会

事務局：府中町生活環境部環境課（環境政策係）

〒735-8686 広島県安芸郡府中町大通三丁目 5 番 1 号

電話：082-286-3247 FAX：082-286-4022

◆連絡協議会

第1回：平成28年5月11日（水）午後4時から 府中町役場 5階 第3委員会室

第2回：平成29年1月26日（木）午後4時から くすのきプラザ 1階 会議室

◆環境出前講座、講師派遣の斡旋（キッズ環境調査プロジェクト）

H28.06.01(水)	水分峡森林公園	府中北学校 4年生（2学級）	48名	「水辺教室」
H28.06.10(金)	水分峡森林公園	府中小学校 5年生（4学級）	156名	「水辺教室」
H28.07.12(火)	水分峡森林公園	府中東小学校 4年生（2学級）	62名	「水辺教室」
H28.07.25(火)	エネルギー総合 研究所	公募 （4年生以上）	23名	「エネルギーや地球温暖化を 楽しく学ぼう」
H28.08.01(月)	府中公民館	公募 （4年生以上）	9名	「エコクッキング」
H28.09.07(火)	府中北小学校 （音楽室）	府中北小学校 4年生（2学級）	48名	「榎川を蘇らせよう会の活動 と川の役割について」
H28.09.07(火)	榎川 （府中北小下）	府中北小学校 4年生（2学級）	48名	「榎川の清掃」
H28.09.16(月)	府中中央小学校 5年生教室	府中中央小学校 5年生（2学級）	69名	「環境ボランティアの紹介発 表」

◆活動物品の支援

デジタルカメラ、用紙類、プリンターインクなど 166,279円

◆活動発表・展示・広報など

発表：平成29年2月11日（土） くすのきプラザ大アリーナ

展示：平成29年3月15日（水）～20日（月） 府中南公民館ロビー

平成29年3月22日（水）～29日（水） くすのきプラザ 1階 ギャラリー

広報紙（平成28年3月号、6月号、7月号、）

府中町公式ホームページ（平成28年6月更新）

その他、関係団体への情報発信

◆キッズ環境調査プロジェクトから生まれた地域の環境活動

H23～ 榎川（役場前）の定期清掃（府中町公衆衛生推進協議会）

H23～ たばこのポイ捨て防止キャンペーン（府中町公衆衛生推進協議会）